

ごあいさつ



地域の皆様 保護者の皆様へ

皆様方には、平素から本校教育推進に多くのご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度も、地域の皆様や保護者の皆様のご協力とご理解を頂きながら、児童や保護者の皆様・地域の皆様の健康と安全の確保を行い、教育活動の充実を図ってまいります。

本校は、明治7年（1874年）に公立小学校として創設され、今年度で152年目を迎える歴史と伝統のある学校です。いつの時代も地域の皆様に温かく見守られ、育てていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、昨年度より導入いたしましたコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）も、いよいよ2年目が始まりました。1年目の土台作りを経て、今年度は学校・家庭・地域がより一体となり、須波の宝である子どもたちを「地域総がかり」で育む体制をさらに定着・充実させていく重要な年と位置づけております。

令和8年度におきましては、新しく**3名**の教職員が着任いたしました。児童は、4月9日に**5人**を迎え、全校児童**47人**で新たにスタートを切りました。今年度も学校教育目標を「夢と志を抱き、未来へ挑戦～自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成～」とし、組織的・計画的な上質の育みを進めてまいります。

これまでの本校のよき伝統を継承しながら、地域・保護者の方々と協働し、「自ら行動『ワクワク』をともに創り出そう～須波の空に未来を描こう！」を合言葉に、児童一人一人が「健やかに伸びる須波っ子」となるよう、さらなるレベルアップを目指します。

また、今年度の研究につきましては、昨年度からの主題を引き継ぎ、「児童が『主体的な学び』を実現する授業づくり」を掲げ、新たに副題を「個と集団の学びが深まる授業展開の工夫」といたしました。一人一人の深い思考（個の学び）と、対話を通じた多面的な捉え（集団の学び）を繋ぎ、授業のさらなる質的向上を目指して、教職員一同、互いに磨き合いながら研究を進めてまいります。

今年度も、子どもたち一人一人の真の幸せづくりを目指し、全教職員が一丸となり、校章に託された「誇り」と「期待」を胸に情熱をもって教育活動に邁進いたします。今後とも、皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

三原市立須波小学校 校長 福原 喜美子